

2022 年 11 月 29 日

共友リース株式会社

サステナビリティボンド（私募債）を発行

ー国内地銀系リース会社初のサステナビリティボンドー

OKBグループの共友リース株式会社（所在地：愛知県名古屋市 社長：吉成 広行）は、OKBグループ策定のサステナビリティ基本方針や環境方針に則り、地球環境との共生が持続可能な社会の基盤となることを認識し、自然豊かな環境を未来に引き継ぐため、気候変動問題や環境保全活動を積極的に進めております。

今般当社は、取引先の再生可能エネルギー設備、エネルギー効率向上に資する物件、教育におけるICT環境整備に資する物件、老人ホームに供する建物等のリース物件の購入資金を資金使途とする、サステナビリティボンド（私募債）（注1）を国内地銀系リース会社として、初めて発行（注2）しました。

引き続きリース業を通じて、カーボンニュートラル社会の実現、地域経済の持続的成長、高齢化社会への対応等、社会課題の解決に貢献していきます。

＜サステナビリティボンドの概要＞

社債の種類	第1回無担保社債（適格機関投資家限定）
発行金額	30 億円
発行時期	2022 年 11 月 29 日
発行年限	10 年
資金使途	詳細後記
私募取扱人	D B J 証券株式会社
引受先	株式会社日本政策投資銀行

＜適合性確認の結果＞

本ボンドは、国際資本市場協会(ICMA)のグリーンボンド原則(GBP2021)、ソーシャルボンド原則(SBP2021)、及びサステナビリティボンド・ガイドライン 2021、環境省のグリーンボンドガイドライン（2022 年版）並びに金融庁のソーシャルボンドガイドライン（2021 年版）に照らし、その適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）より外部評価を取得しております。

<資金使途>

プロジェクト	対象事業	カテゴリー	関連する SDGs
グリーン	太陽光による再生可能エネルギー	再生可能エネルギー	
	省エネルギー性能の高い機器及び設備の導入	エネルギー効率	  
ソーシャル	小中学校における教育 I C T 環境の整備	必要不可欠なサービスへのアクセス 対象とする人々：子ども	
	住宅型有料老人ホームの提供	必要不可欠なサービスへのアクセス 対象とする人々：高齢者	 

(注1)「サステナビリティボンド」とは、企業や地方自治体等が、環境問題・社会課題の双方の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行する債券等のことで、①調達資金の使途がサステナビリティプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③発行後のレポーティングを通じ透明性が確保された債券のことです。

(注2) 株式会社格付投資情報センターもしくは株式会社日本格付研究所によりセカンドパーティーオピニオンを受けた国内企業によるサステナビリティボンド発行実績、及び Bloomberg L.P. データベースに基づいて確認した情報。

お問い合わせ先

共友リース株式会社 経理財務部 (担当) 花田・石田

電話番号 052(419)2001